

昭和五十九年三月十五日発行

# 会報

第十六号

社団法人・岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

## 全国医療従事者数

この程、全鍼師会が調べた全国の医療関係に

従事するものの数は、次の通りである。

医師から作業療法士までは昭和 56 年末現在のもの

(昭和 57 年末現在)

種 別	総数 (人)	人口 10 万人単位 (人)
医 師	1 6 1, 2 6 0 人	1 3 6. 6 人
歯 科 医 師	5 5, 6 8 0 人	4 7. 2 人
薬 剤 師	9 9, 3 2 6 人	8 4. 1 人
衛 生 検 査 技 師	1 1 1, 5 0 4 人	9 4. 5 人
臨 床 検 査 技 師	6 9, 6 1 0 人	5 9. 0 人
診 療 放 射 線 技 師	2 1, 4 2 9 人	1 8. 2 人
診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	4, 1 4 2 人	3. 5 人
理 学 療 法 士	3, 0 4 5 人	2. 6 人
作 業 療 法 士	1, 0 8 9 人	0. 9 人
保 健 婦	1 9, 1 3 7 人	1 6. 1 人
助 産 婦	2 5, 4 1 6 人	2 1. 4 人
看 護 婦	2 7 5, 5 7 8 人	2 3 1. 7 人
看 護 士	3, 6 0 8 人	3. 0 人
准 看 護 婦	2 5 1, 8 8 2 人	2 1 1. 8 人
准 看 護 士	9, 9 0 3 人	8. 3 人
歯 科 衛 生 士	2 4, 8 3 6 人	2 0. 9 人
歯 科 技 工 士	2 6, 6 5 8 人	2 2. 4 人
あん摩マッサージ指圧師	8 3, 1 1 3 人	6 9. 9 人
は り 師	4 9, 9 0 1 人	4 2. 0 人
き ゅ う 師	4 8, 5 9 6 人	4 0. 9 人
柔 道 整 復 師	1 4, 6 8 9 人	1 2. 4 人

# 会 報 第十六号 目 次 (題字「会報」は石川理事長筆)

あいさつ	……………	理事長 石川 文治	…	1
県鍼按師会 役員名簿	……………			2
県鍼按師会 昭和五十八年度日誌	……………			4
県鍼按師会 昭和五十八年度 会員調査表	……………			6
県鍼按師会 昭和五十八年度定期総会議事録	……………			7
昭和五十八年度東鍼連 (第三十七回) 総会 秋田大会	……………			11
昭和五十八年度学術講習会	……………			13
岩保会 昭和五十八年度の動き	……………			14
胆江師会 創立七〇周年記念式典	……………			15
松田氏 黄綬褒章受章記念祝賀会	……………			19
加藤氏 岩手県知事表彰を受ける	……………			21
日東医学会 (第九回) 学術大会 神奈川大会に参加して	……………	副理事長 越本 政男	…	21
中央業会の動き 社団法人 全鍼師会	……………			23
社団法人 日本鍼灸師会	……………			26
日保連	……………			26
ニュース	……………			29
随筆 二つの喜び	……………	気仙師会 菊池 利美	…	31
師会だより	……………			32
花巻・北上和賀・一関・気仙・久慈・宮古・釜石				
編集後記	……………			38

## あいさつ

理事長 石川文治

皆様には ご健勝にて三療にお励みのこととお慶び申し上げます。

県鍼按師会が社団法人になって早や七年になりました。会員皆様のご努力により、県民の私共業会に対する認識が次第に深まっているようです。スモン取扱い、労災保険、老人医療とだんだん道が拓けてきましたが、保険取扱いの件は遅々として進みません。

中央では、三団体が日夜協議して進めておりますが、岩手でも岩保会で保険推進委員会をつくり、五十九年二月五日会議を以て保険獲得に一步踏み出しました。次に五十八年度に出席した主な行事は十月十五日、東北六県師会会長会議が仙台市クリハラホテルで行われ、全鍼師会会長関野先生を迎えて 政治連盟結成、共済会所得補償、各県における組織強化対策等が話し合わせ、五十九年度東鍼連大会は 青森県の大鰐で七月初めに開催の予定。

翌日十六日は、東北鍼灸マッサージ学術大会が宮城県民会館で開催され、午前中は会員の発表、午後は関野会長の特別講演がありました。

十二月十日、試験委員に猪ノ口富蔵氏、下佐征昭氏をお願いしました。

一月十六日、全国師会会長会議が全鍼会館で開催され、療術問題、柔道整復師問題、保険の対策とか政治的にも進めてゆくため、五十九年度は会費を 1000 円増額する要望があり、また患者側から鍼灸マッサージの保険を進めている堀文三郎氏が出席され、国民運動として進めて行きたいので業会でも応援してほしいと強く訴えられた。

なお、七月十日に松田惣次郎先生が、永年のご功績によって黄綬褒章を受章されたので、祝賀会を盛岡東屋本店で三団体主催で開かれ、八十数名出席盛会でした。受章誠にめでたく心よりお祝い申し

上げます。

また、十月十二日県民会館で、八十三年岩手健康づくり推進県民大会で会の役員として県民医療の充実向上に貢献したとして、石川文治並びに岩手県鍼灸師会副会長だった赤崎大造氏が県知事表彰をいただきました。皆様の温かいご指導ご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

十二月十八日、仙台で東鍼連会長川村智夫先生が勲五等瑞宝章を、また同時に氏家清春氏、大場勝男氏、渡辺一男氏、木村力雄氏がそれぞれ知事並びに大臣表彰を受けられ、その祝賀会に招待を頂き中央より関野全鍼会長もお出になり、八十名ほどの参加で盛会でした。同時に宮城の先生方が五人も受賞されましたことは大変素晴らしい。只々敬服の一語に尽きます。心よりお祝い申し上げます。

- 1 -

## 社団法人岩手県鍼灸マッサージ指圧師会役員名簿

五十八年五月改選



顧問  
衆議院議員 鈴木 善幸先生



顧問  
盛岡 菅野 長治



顧問  
花巻 畠山 忠司



理事長 保険部長（胆江）  
石川 文治  
県鍼灸マ審議委員



副理事長 会計部長 盛岡師会長  
渋川 澄意  
県鍼灸マ審議委員



副理事長 事業部長 釜石師会長  
越本 政男



常務理事 総務部長（盛岡）  
下佐 征昭  
県鍼灸マ試験委員



常務理事 総務（盛岡）  
三沢 五郎



常務理事 会計（盛岡）  
猪ノ口 富蔵  
県鍼灸マ試験委員



常務理事 事業（花巻師会長）  
多田 兼雄



常務理事 総務（盛岡）  
中村 哲夫



常務理事 保険（胆江師会長）  
菊池 安夫



常務理事 事業（花巻）  
大川 イト

理事 北上・和賀師会長 南川 忠  
理事 一関師会長 北峯 忠志

理事	東磐師会長	熊谷 勝
理事	気仙師会長	鈴木 源十郎
理事	遠野師会長	長山 京一
理事	宮古師会長	中村 強真
理事	県北師会長	加藤 敏勝

- 3 -



監事（花巻）

鞠子 栄



監事（県北）

山本 孝一

事務所 〒020-01 盛岡市箱清水 1 丁目 36 番 5 号

下佐 征昭 方 電話 0196-61-6277 番

## 昭和五十八年度 県鍼按師会 日誌

昭和 58 年

- 5 月 8 日 午前 10 時より盛岡市さくら会館において 58 年度定期総会を開催。
- 6 月 11 日 58 年度第 37 回東鍼連秋田総会が男鹿市戸賀塩浜・ホテル多賀湾で午後 3 時より開催され会員多数が出席した。
- 7 月 10 日 午後 1 時 30 分より盛岡市東屋本店において同窓会・盲協・共催による松田惣次郎氏・黄綬褒章受賞記念祝賀会を開催多数出席する。
- 7 月 24 日 盛岡市さくら会館において午前 10 時より第 1 回常務理事会を開催。
- 7 月 31 日 午後 1 時より水沢市「小万梅」において胆江師会創立 70 周年記念式典並びに祝賀会に渋川副理事長出席する。
- 9 月 17 日・18 日 盛岡市総合福祉センターにおいて 2 日間に亘り、筑波大学助教授西条一止先生を招き学術講習会を開催多数の会員が受講した。
- 10 月 13 日 「いわて健康づくり県民推進大会」において、保健医療功労者として石川理事長岩手県知事表彰を受ける。
- 10 月 15 日 仙台市・クリハラホテルにおいて開催の東鍼連師会長会議に石川理事長出席する。
- 10 月 16 日 第 9 回東進鍼連学術大会が仙台市宮城県民会館において開催され本会からも若干名が受講した。
- 10 月 22 日・23 日 2 日に亘り日東医学学術大会（神奈川大会）が横浜市民ホールで開催され越本副理事長ほか 2 名が参加した。

11月12日 東京四谷の全鍼師会会館において、中央法律対策委員会が開催され、全鍼師会より委嘱を受けて渋川副理事長出席。

12月18日 午後1時より仙台市宮城県労働福祉会館において川村智夫東鍼連会長、勲五等瑞宝章受章記念祝賀会に石川理事長出席する。

昭和59年

1月7日 盛岡市・つなぎ愛真館において午後1時より第2回常務理事会を開催。

社団法人 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会  
 会員調査票

昭和58年12月1日現在

師会名	会員数	女性会員数	休会の会員数 ( )は病休	自営業の会員数	病院・諸施設へ 勤務の会員数	病院・施設・自営 以外のその他の会員数	使用する文字		高齢会員数 (七〇 歳以上で会費免除)
							墨字	点字	
盛岡	50	15	3 (1)	49	1	—	11	39	4
花巻	18	5	—	18	—	—	5	13	3
北上・和賀	15	6	—	15	—	—	3	12	3
胆江	28	8	1 (1)	23	5	—	11	17	5
一関	14	1	2 (2)	14	—	—	4	10	2
東磐	4	0	—	4	—	—	0	4	1
気仙	9	1	—	9	—	—	2	7	1
遠野	3	0	—	3	—	—	0	3	1
釜石	12	4	1	11	1	—	4	8	0
宮古	20	5	—	20	—	—	7	13	1
久慈	2	1	—	2	—	—	0	2	0
県北	12	1	1 (1)	12	—	—	3	9	0
合計	187	47	8 (5)	180	7	—	50	137	21

五十八年度 定期総会

五月八日午前10時より盛岡市八幡宮境内にある「さくら会館」大ホールで五十八年度の定期総会が開催された。この日は五月にしては肌寒い一日で時折しゅう雨のあいにくの天気でしたが六十六名が出席し活発な質疑が交わされた後、役員の大改選



司会する下佐総務部長

が行われ正副理事長とも留任となり、監事には野沢孝一氏の後任に山本孝一氏が、常務理事に大川イト氏の両新人が選出された。

総会終了後、会場を宴会場に移し、盛會に懇親會が開催された。尚、五十九年度は一関市において開催される。

## 昭和五十八年度定期總會議事録

日 時 昭和五十八年五月八日（日）午前十時

会 場 盛岡市八幡宮境内 さくら會館に於いて

出 席 會員六十六名 点呼の結果出席者多数により總會は成立し、定刻より 10 分遅れて開會する。（委任状八十六名）

司會は下佐征昭総務部長

開會の辞 三沢五郎常務理事

理事長挨拶 石川文治理事長

議長選出の件 司會者より議長選出をいかにすべきかを會員に諮り、司會者一任の声多数あり、司會者より加藤敏勝理事（県北）を推薦、會員了承し加藤理事議長席に登壇。議事録記録人には越本政男副理事長を、議事録署名人には山本ミヤ、小野寺日出子の各氏を決定し議事に入る。

議事

### 一. 第 1 号議案 各部の昭和五十七年度の報告の件

#### 1. 理事長会務報告 理事長 石川文治

- 7 -

県業界では今回、藤沢、菅野両氏に続いて松田惣次郎氏が黄綬褒章を受章されたこと。

悲しみでは阿部ノブ、佐々木栄、佐々木桃子の三氏が死去されたこと。日本マッサージ師會が結成されたが本會からは 2、3 名しか参加していない。渋川副理事長宅の移転により事務所の変更を検討中である旨を報告。また東鍼連の會議等の報告については會報第十五号に掲載してあるので割愛し、更に中央業界の情勢について述べ、日マ會の結成があつても

も保険獲得は依然至難であること、労災保険の獲得、全鍼師會では會員所得補償共済制度を実施した旨について報告する。

#### 2. 昭和五十七年度庶務報告 総務部長 下佐征昭

#### 3. 昭和五十七年度事業報告 事業部長 越本政男

#### 4. 昭和五十七年度岩保會報告 理事長 石川文治

以上、各部會報告通り承認可決。

### 二. 第 2 号議案 昭和五十七年度決算報告

會計部長渋川澄意氏報告のあと、野沢孝一監事より監査結果、適切である旨の報告あり異議なく承認可決。



挨拶する石川理事長と會員



事業報告する越本事業部長  
右から三人目は加藤議長



三. 第三号議案 昭和五十八年度事業計画の件

越本事業部長より提案説明のあと、理事長より新たな企画により研究会を実施したい旨を補足説明のあと質疑に入る。

藤田喜治郎氏から、独自の方法で老人治療奉仕を実施している旨を発表、また渋川副理事長より盛岡師会の立場から老人奉仕治療の方法等が述べられる。また松田惣次郎氏より県北師会における六十五歳以上の老人奉仕の治療の実際について説明あり。工藤政吉氏より学術講習会についての要望があり、野沢孝一氏からは会報第十五号の編集について賞賛の言葉が述べられ、原案どおり可決。

四. 第四号議案 昭和五十八年度予算案の件

会計部長渋川澄意氏より提案説明のあと、2、3の質疑があり原案通り満場一致により可決成立。

五. 第五号議案 全鍼師会資金カンパの件

総務部長より提案理由の説明があり。説明要旨…過般の理事会で理事各位に趣意書を差し上げてあります。カイロや療術師問題が山場に来ておりマッサージの保険単価の問題等、政治的に対処してゆかねばならないため全鍼師会では政治連盟を設置活動するためによる資金カンパであり、是非ご賛同いただきたい。尚、カンパは会員一名につき500円である。

また、渋川氏も補足説明に立ち、業界の今後には容易ならざる事態に遭遇することは必至である旨を強調し、現状を具体的に説明する。満場拍手により可決。

六. 第六号事案 久慈市災害の件

越本事業部長より説明。要旨…4月27日久慈市長内地区に発生した火災の重大さに驚き、大崎慶作久慈師会長に対し「オサナイチクニカイインイルカシラセ」の電報を打ったところ大崎氏より被災者なしの返事があり安心した。よってこの件は報告事項となる。



七. 第七号議案 昭和五十九年度定期総会開催の件  
北峰一関師会長より巖美溪の「いつくし園」に

決算報告する渋川会計部長

において五十九年度の定期総会を5月の第二土曜日に開催する旨を述べる。満場拍手にて承認する。

八. 第八号議案 昭和六〇年度東鍼連総会岩手大会開催の件

渋川理事副理事長提案説明。要旨…六〇年度は本件の当番で東鍼連総会を開催しなければならない。会場を開催一年前に予約しておかねばならないので、ここで開催についての進め方を執行部に一任していただきたい旨を述べる。満場拍手により承認。このあと越本事業部長より五十八年度東鍼連総会秋田大会へ多数の参加をいただきたい旨要請する。このあと鞠子栄氏より6月12日すなわち東鍼連総会秋田県大会の翌日に当たる日が県旨協の総会になっています。参加者のためにも旨協に対して開催日を変更していただくよう折衝して欲しいとの要望が出され、理事長も善処すると答弁する。

## 九. 第九号議案 その他

渋川副理事長提案理由を説明。

1. 松田惣次郎氏黄綬褒章受章記念祝賀会を盲協、同窓会の三団体共催で行いたい。
2. 菅野顧問ならびに大堂他人両先生に対する叙勲申請を岩手県、厚生省に対して積極的に行うことを了承して欲しい。
3. 交通事情の変化に伴う旅費規程の字句の修正なしで行うことを認めて欲しい。いずれ規定改正案を五十九年度総会に提出する。

以上、3点について異議無く了承される。

## 十. 第十号議案 役員の変更の件

議長より役員の出選方法について図った結果、各師会より一名ずつ選考委員を選び選考委員会を作り、役員を選出する案が多数決となり、各師会より一名の委員を選出する。尚、執行部より一名加えることに決定した。

選考委員会委員長大野（花巻）、四戸（盛岡）、南川（北上和賀）、菊地（胆江）、北峰（一関）、熊谷（東磐）、鈴木（気仙）、岩間（釜石）、中村（宮古）、山本（県北）、猪ノ口（執行部）。

選考委員会が別室にて協議された結果、理事長に石川文治氏が、副理事長には渋川澄意、越本政男の両氏が、監事に鞠子栄、山本孝一の両氏を各々選出決定する。

次に、副理事長別室において新常務理事を協議決定する。

常務理事 下佐征昭、三沢五郎、猪ノ口富蔵、中村哲夫、多田兼雄、大川イト、菊池安夫。

これにて議事終了し議長降壇し、三沢五郎常務理事が閉会の辞を述べ閉会する。午後1時30分。

議事録記録人 越本政男

議長 加藤敏勝

議事録署名人 山本ミヤ

議事録署名人 小野寺日出子

- 10 -

## 昭和五十八年度（第三七回） 東鍼連秋田総会

日時 昭和五十八年六月十一日 午後三時

会場 秋田県男鹿市戸賀浜 ホテル戸賀浜

出席者 一六〇名 本会よりは二十二名が参加する。

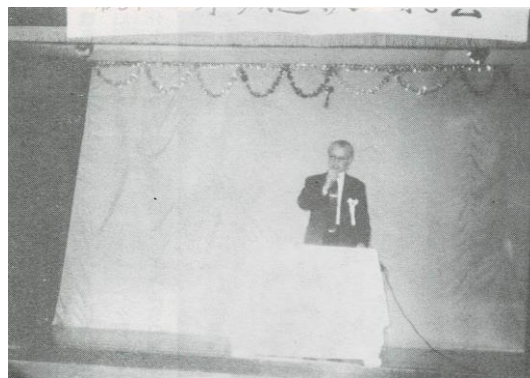
山形県は欠席。本会からは越本政男、多田兼雄の両氏が代議員となる。

五月二十六日、正午ごろ突如日本海中部地震が発生。会場である戸賀浜も大津波の襲来を受け、既報の通り甚大なる被害を被り大会の開催が慮られたが、

秋田県師会の並々ならぬ努力により無事開催されたことは喜ばしく敬意を表したい。また、本会からも二十二名が参加したが、この数は本県以外の開催地としては最高である。

秋田駅より会場までバスで一時間四〇分も要することから異例の午後三時開会となった。総会終了後、戸賀浜に沈む夕日がとても素晴らしかった。

総会は定刻より若干遅れて開会され、冒頭に「地震が来た時の心得」で始まり、型通りの挨拶・祝辞・祝電披露などが終了したあと、各県の代議員が確認され議長団に照井（秋田）、寺岡（青森）の両



来賓の関野全鍼師会会長

氏を選び、記録人に田中三雅、署名人に上野照氏（いずれも宮城）を決めて議事に入った。

議事では五十八年度事業並びに予算案の件で、東鍼連負担金を各県 5000 円を 1 万円に値上げした予算が組まれ可決された。尚、福士弘氏（秋田）は、東鍼連運営のために個人が 100 円程度の会費を負担すべきではないのかと質したが、川村会長は一人から 100 円頂いたとしても 133,000 円しか集まらない全鍼師会、東鍼連とかえって会費の負担が大きくなり地方での活動が鈍る恐れがある、と突っぱねた。各県の昭和五十七年の全鍼師会への登録数は次の通り。尚（ ）は五十六年度から見た条件を示した数字である。

福島 340 (+2)、宮城 310 (+25)、岩手 150 (-10)、青森 100 (0)、山形 270 (+40)、秋田 160 (0) 合計 1,330 名。

次に、川村会長が今回、全鍼師会の監事に就任したために理事を改めて選出しなければならない

- 11 -

が、そのためには会則の改正を行わねばならないとして改正案が提案された。改正案は第八条役員職務は次の通りとする。会長は本会を代表し会務を総括する。但し、原則として全鍼師会の理事であることを要する。このうち但しの部分を削除し、第九条の三項に、全鍼師会の理事は理事会において決定し、総会の承認を得るものとするを設ける。これを、執行部原案通り可決され、続いて鈴木重雄福島県師会長を全鍼師会理事に推薦する旨の提案が出されて承認されたあと、各県師会の情勢報告が行われたが時間がないとのことで極めて簡単に紹介された。

今回は地方師会の提出議案は一件もなく、五十七年度の総会を青森県で開催することを決定し午後五時閉会となった。

総会終了後、四十分に亘り関野光雄全鍼師会会長が「中央の情勢について」と題して講演が行われた。

午後七時過ぎから懇親会が開催され「なまはげ」や歌謡ショーを見ながら海の幸が盛られた膳に舌鼓を打ちながら歓談のひと時を送った。

翌朝 1000 円を各々支払い観光バスに乗車し寒風山を見物し、午前 11 時過ぎ秋田駅に着いた。



石川理事長（真ん中）



日本海に落ちる夕日

- 12 -

幸いなことに地震は感じずに済んだ。

以上、事業部長 越本政男

### 昭和五十八年度 学術講習会

九月十七日から十八日の二日にわたり県盲人福祉協会との共催で盛岡市総合福祉センターにおいて学術講



西條一止筑波大学助教授

習会が開催されました。二日間とも秋晴れに恵まれたためか例年より多数の会員が参加した。

講師は筑波大学助教授の西條一止先生で、テーマは「三療の臨床」「徒手による診断」「三療の新しい治療法」「三療を取り巻く内外の情勢」。

今回の講演はメニューが豊富で大変親切な内容でした。我々日頃患者に対しての何げない振る舞いや行為、態度が知らぬうちに患者に不快感を与えている例や、また電気治療器等がすごい勢いで家庭に売られている現在、プロあん摩師として技術の練磨はもとより、治療時間の改善、情報化時代に即応した話術を身につける、新しい時代に沿った経営法、患者の経済的条件に叶った治療法と料金の段階などを決めて臨床に当たっ



電気鍼の実技

- 13 -

てみるとか。あるいは患者のニーズに応えるために二、三人で共同経営を行い、日勤、夜勤の二本立てとし、休業は交代制にして患者は年中好きな時間に治療をしてもらえるという方法など懇切丁寧なアドバイスがありました。

臨床編では、最近のあん摩師は頭部や腹部、そして手足についても緻密な治療ができない者が多いと指摘された。鍼治療では扁桃炎の電気鍼の実技が行われた。尚、二日目の午後は実技が活発に行われて、午後三時に終了しましたが大変に「実り」多き二日間でした。

## 岩手県保険鍼灸マッサージ師会 五十八年度の動き

五十八年度定期総会開催 正副会長は留任 「保険推進委員会」の設置を決める

七月二十四日（日）午後1時より、盛岡市八幡宮境内にある「さくら会館」において開催された。出席二十二名、委任状六十名。総会は越本総務部長の司会により開会宣言のあと、佐藤徹副会長が開会の辞を述べ参議院選挙協力についての謝辞。昨年六月には労災保険協定に至った。今後とも保険を発展させたいと挨拶。続いて三浦会長が挨拶「昨年の総会時には中国医大への留学中のため欠席した。訪中は日中間の交換学生の交流を図るためであり中国での東西両医学の現場を視察した。機会を見て会員各位に報告したい。昨年十二月鍼灸医学の解明のため、科学技術庁に二十五人のスタッフによる研究班が出来た。

中央でも東洋医学の研鑽を始めた。本県でも県立の東洋医学研究所の設置が必要である。法律上の問題もありいろいろ対策を練って近日中に知事へ書類を提出するが、その土台とするには、やはり「鍼灸の科学化を証明する必要がある」と述べる。このあと議長に大野六雄氏（花巻）、記録人に赤崎幾哉氏（大槌町）、署名人には新里勤氏（大槌町）を決め議事に入った。議事は五十七年度の庶務報告を越本総務部長が、財務報告を猪ノ口財務副部長が各々報告。野沢孝一氏より監査報告が行われ承認された。

次に五十八年度の事業計画案を審議、越本総務部長より本会 PR のために会報第4号（墨字・点字版）を発行したい。続いて赤崎幾哉氏（大槌町）より「会運営のため（仮称）保険推進委員を両師会より選出し具体的に活動した方が良いのではないか」との緊急動議が提出され、渋川澄意氏（盛岡）から「保険問題は遅々として進まず従来の運営から脱皮するためにも新進気鋭の人材を持って研究会設立のための推進委員会の件について赤崎氏案に賛成」の意見が述べられたあと、三沢五郎（盛岡）、大友博康（北上）各氏も賛成討論を行い満場一致でこの動議を可決し推進委員七名を選出した。



次の通り、県鍼灸師会より佐藤徹（一関）、大友博康（北上）、桐生誠（盛岡）、清水端久生（盛岡）の四氏。県鍼灸師会より、石川文治（水沢）、猪ノ口富蔵（盛岡）、中村哲夫（盛岡）の三氏。尚、代表者は互選とする。

- 14 -

このあと五十八年度の予算案が可決され石川副会長より日保連五十八年度の総会報告があり、続いて保険問題について質疑が行われ、福岡方式「施設費払い」についても今後とも検討を要するとし、猪ノ口氏より「福岡県では会員三〇〇人で年間の取扱額が六億六千万円で会員一人当たり約二百二十万円の収入を得ている。岩手でも一考を要する」と参考意見が述べられ、また大友氏より老人医療についての報告があり、議事を終了し役員の改選に入り、次の通り決定し、石川副会長の閉会の辞により午後四時一〇分散会。

◎新役員名簿（敬称略）

- 会長 三浦一良（留任）
- 副会長 石川文治（留任）
- 副会長 佐藤 徹（留任）

○理事

- 総務部長 越本政男（留任）
- 同副部長 三沢五郎（留任）
- 同副部長 井上政敏（留任）
- 同副部長 赤崎幾哉（新任）
- 財務部長 渋川澄意（留任）
- 同副部長 阿部嘉兵衛（留任）
- 同副部長 猪ノ口富蔵（留任）



左から三浦会長・佐藤・石川両副会長

○監事

- 野沢孝一
- 田中 勇（両氏とも留任）  
（岩保会・会報第四号より）

## 胆江師会 創立七〇周年記念式典

石川理事長の「ひざもと」である胆江師会が創立七〇周年を迎え七月三十一日午後一時より水沢市吉小路「小万梅」において記念式典と祝賀会が盛大に開催されました。

本会から渋川副理事長が来賓として出席しました。菊地安夫胆江師会長より創立七〇周年を記念して発行されたパンフレットが編集部が届いておりますのでこの全文を次にご紹介致します。

.....

社団法人 岩手県鍼灸あん摩マッサージ指圧師会  
胆江師会 創立七〇周年記念式

- 15 -

と き 昭和五十八年七月三十一日（日）午後一時  
ところ 小万梅（水沢市吉小路）

主 催 社団法人岩手県鍼灸あん摩マッサージ指圧師会  
胆江師会  
事務所 〒023 水沢市真城字雷神十六ー三  
電 話 01972-4-3882 番

創立七〇周年記念 プログラム

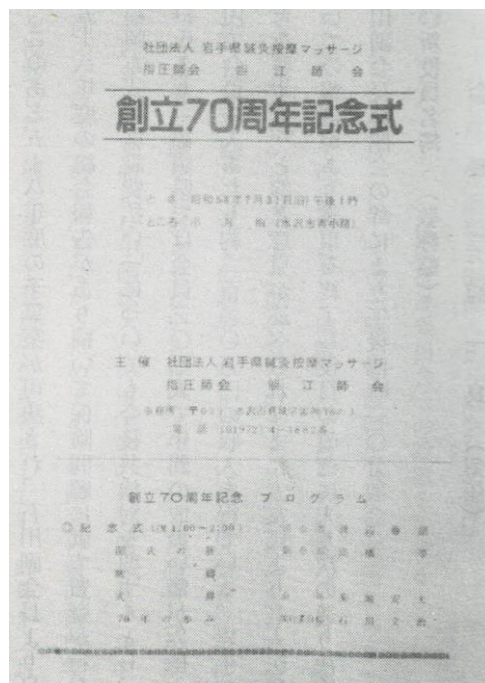
◎記念式 (PM 一時から二時) 司会者 渡辺藤朗  
開会の辞 副会長 高橋 等  
黙 祷  
式 辞 会 長 菊地安夫  
七〇年の歩み 実行委員長 石川文治  
表 彰  
長年役員として 三名  
長年会員として 一〇名  
感謝状 一名  
謝 辞 高橋辰雄  
来賓祝辞  
国会議員 水沢保健所所長  
水沢市長 水沢医師会長  
岩手県鍼灸あん摩マッサージ指圧師会長  
一関師会長 北上和賀師会長

祝電披露

閉会の辞 今野 進

◎記念懇親祝賀会 (PM 二時から四時)

司会者 小沢信男  
開会の辞 副会長 高橋 等  
会長挨拶 会長 菊地安夫  
乾 杯  
祝 歌 小野寺松雄  
万歳三唱 実行委員長 石川文治  
閉会の辞 高橋辰雄



パンフレット

- 16 -

表彰者名簿 (敬称略 入会順)

◎長年役員として 三名  
高橋辰雄 今野 進 高橋 等  
◎長年会員として 一〇名  
及川竹治郎 小野寺松雄 佐藤宝山  
岩城繁老 佐藤アキ 千葉キエノ  
渡辺藤朗 阿部市助 佐藤勇二郎  
及川成保



晴れの日を迎えた菊地会長

◎感謝状 高橋洋子

歴代会長とその在職期間

初代	遠藤琢治氏	自大正二年四月から至大正一二年四月
二代	千葉六三郎氏	自大正一二年五月から至昭和一六年四月
三代	石川円作氏	自昭和一六年五月から至昭和二六年四月
四代	阿部秀男氏	自昭和二六年五月から至昭和二九年四月
五代	遠藤清助氏	自昭和二九年五月から至昭和三〇年四月
六代	阿部秀男氏	自昭和三〇年五月から至昭和三六年四月
七代	石川文治氏	自昭和三六年五月から至昭和四五年四月
八代	菊地安夫氏	自昭和四五年五月から 現在

七〇周年を迎えるにあたって

会長 菊地安夫

社団法人岩手県鍼灸あん摩マッサージ指圧師会胆江師会の創立七〇周年にあたり一言ご挨拶を申し上げます。日一日と木々は緑を増し鳥のさえずりさえも一段と清々しさを感じられる今日この頃、会員の皆様には益々お元気でお働きのことお慶び申し上げます。

さて、我々の会が地域保健治療、会員の研修会、親睦、そして社会奉仕活動等を旗印のもと、大正二年に発足しましてから早いもので七〇年を迎えることになりました。

一口に七〇年と言いますが、この間には色々のことがあり、特に終戦後の昭和二十二年九月二十三日、突如占領軍による斯業に対する禁止要望が伝えられ、吾業界は最大危局に直面したこともあり、

- 17 -

毎日が苦悩と忍耐の連続でございました。しかしながら会員各位におかれましては誰一人として脱会されることもなく今日まで歩んでこられましたことは誠に喜ばしく感慨無量でございます。現在我が国を取り巻く経済情勢はアラブ諸国の原油の問題に端を発し、また国内では三年続きの冷害に見舞われ、増々厳しい状況に置かれておりますが、この厳しい時にこそ全会員が一丸となり今まで以上に知識の向上と技術を練磨し活発な意見交換や親睦等を図り、実のある会の運営を行っていきたく思います。よろしく会員各位のご協力とご指導をお願い致しまして私の挨拶といたします。

胆江師会 七〇年の歩み

大正二年五月一七日

初代会長遠藤琢治氏が、鍼術、灸術営業者同業組合設立を申請、岩手県知事堤定次郎殿より認可発足 会員十三名

大正一〇年六月三〇日

遠藤琢治氏が、胆沢郡鍼術、灸術、按摩術マッサージ術営業同盟組合設置を申請、岩手県知事柿沼竹雄殿より認可 会員二十名

昭和三年三月三〇日

同上組合の規約改正の件、岩手県知事丸茂藤平殿より認可

昭和十七年三月二日

昭和十六年十二月十六日、岩手県鍼灸按摩マッサージ師会連合会が出来、その下部組織として胆江師会設立の件、岩手県知事山内義文殿より認可 会員二十七名

昭和二十四年六月一日

鍼灸按摩マッサージ師再教育講習会、六月一日から五日迄、水沢公民館において、水沢保健所長、桜井胆沢郡医師会長中村胆沢病院長、石川文治、佐々木ヨシエ、阿部秀男氏等々が講師で、三十五名受講。実施表、講習証書、受講者名簿を知事国分謙吉殿に報告

昭和二十七年七月十五日

胆沢国保の鍼灸マッサージ施術担当者として、管理者藤原喜蔵氏と石川円作氏代表との協定書を取り交わす

昭和二十八年八月二十二日

同上会長交代に付き、阿部秀男氏代表で協定書を取り交わすも厚生省の通達で二十九年三月協定が無効になった

昭和五十三年八月二八日

社団法人岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会が、千田正知事より許可になり、五十四年四月十日、胆江師会の会則が改正され現在に至る 会員二十九名

昭和五十三年十二月一日

スモンに対するはり、きゅう及びマッサージ治療研究事業についての契約を岩手県知事千田正殿との間で成立

- 18 -

昭和五十七年六月二十八日

労災保険協定が岩手労働基準局長との間で成立

本会の主な年間行事

- 四月 定期総会の開催
- 六月 役員会
- 九月 慰問治療 寿水荘 立生苑
- 九月 研究会 鍼灸とマッサージ部
- 十一月 役員会
- 一月 新年研修会と新年会
- 二月 慰問治療 寿水荘 立生苑
- 三月 役員会

松田惣次郎氏

黄綬褒章受章祝賀会

松田惣次郎氏が五十八年五月二十七日黄綬褒章を受章されましたので、岩手県立盲学校同窓会、社会福祉法人岩手県老人福祉協会、社団法人岩手県鍼灸あん摩マッサージ指圧師会の三団体により七月一〇日午後一時三〇分より盛岡市中ノ橋通一丁目東屋本店に多数の会員が参加、祝賀会が盛大に開催されました。

松田さんは謝辞の中で、夫婦同伴で宮中にお招



70年の歩みを説明する石川理事長



喜びの松田氏夫妻



きをいただき天皇陛下にお言葉をいただきました。

- 19 -

戦前学校時代に天皇陛下の「天」というお言葉を耳にしたらスグに直立の姿勢になり最敬礼したことを思い大変緊張し家内も心配していましたがなんとか無事に過ごせましたと語られ感激もひとしおのようでした。尚、松田氏には記念品として銀杯が送られました。

#### 松田惣次郎氏の略歴

大正四年二月一〇日 二戸郡一戸町にて出生六十九歳

現住所 二戸郡一戸町一戸字北館百六十一四

夫人との間に三人の息子さんと娘さんが一人でお孫さんは合計七人。

現在は、ご長男夫妻と三人のお孫さんと生活され現役として活躍されて居られます。

松田さんは幼少の頃に失明され、昭和六年に県立盲学校に入学され優秀な成績で昭和十二年に卒業されると同時に盛岡市で開業されましたが、温厚な人柄と真面目さと更に研究心が患者さんに買われて多忙な日々を送られました。優れた臨床家として昭和十七年には母校の嘱託として迎えられ、多忙な営業の傍ら後輩の指導にあられた。

しかし、太平洋戦争の戦火は県都へも及びご家族は松田さんの身を案じ帰郷することを勧め、母校から惜しまれながら職を辞され、昭和二十年四月帰郷され再び開業された。

終戦後、母校から何度も復職の要請がありましたが郷里の人々は松田さんを最も必要としていたため母校には戻らず、地域の住民の保健治病に今日まで貢献してこられました。

松田さんは県北地域における業会、盲会のリーダーとして長期間にわたって活動された。この功績は大きく業会、盲会県身障者協議会会長賞等々、数々の賞を受賞され又光栄ある厚生大臣賞も受賞され今回晴れの黄綬褒章受章という榮譽に輝いたのです。

松田さんは良き奥さんに恵まれて居られます。松田さんの行かれるところには必ず奥さんが傍らにあって甲斐甲斐しくご主人のお世話をなさる。この麗しきご夫妻の光景を目にして「ふと」奥さんの内助の功が松田さんに今日の喜びをもたらしたのではないのでしょうか。



祝福に参加した会員

- 20 -

松田さん、おめでとう、心よりお祝いを申し上げます。  
いつまでもお元気でご活躍くださるようお祈り申し上げます。

#### 加藤敏勝氏 岩手県知事賞を受賞

県北師会長で今回の理事として、最近の名議長の声も高い加藤敏勝氏が五十八年十月二十六日、釜石市民文化会館において開催された、第二十六回岩手県身体障害者福祉大会式典



岩手県知事表彰を受ける加藤氏

において自立更生で岩手県知事表彰を受賞されました。

## レポート

### 日本東洋医学系物理療法学会 第九回学術大会（神奈川大会）に参加して

副理事長 越本政男

この学会も九回目を迎え十月二十二から二十三日の二日におわり「鍼灸マッサージの臨床医学的価値」を主題に、横浜市民ホールに九百四名の会員を集め盛大に開催された。

本会から私と佐々木至、三枚堂の両氏が参加した。私達三名は大会前日に出発、新幹線大宮駅に近づく頃から秋雨が降り出し国電から眺める東京は灰色に霞み、ちょっぴり旅愁を感じる。しかし、大会の二日間は秋晴れに恵まれ、東北から来たものには暑いほどの陽気であった。

大会は特別講演三題、一般口演二十一題で日程をぎっしり埋め、シンポジウム「つばの医学的解釈とその臨床応用」で大会の掉尾（ちょうび）を飾った。

また、大会九回目にして初めて大会修了証書が参加者に渡された。尚、第十回はこの学会の旗揚げをした九州に舞台が移され、火の国熊本で開催される。

一般口演の中から、印象に残ったもののうちから断片的ながら二、三紹介してみよう。

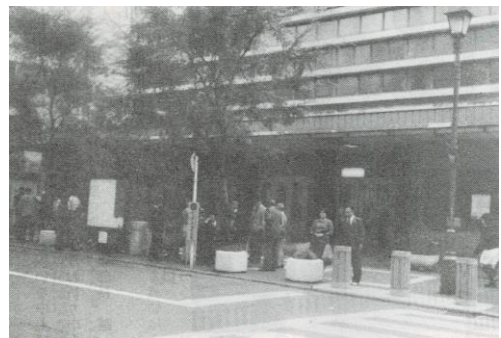
- 21 -

◎横浜市の小沢氏によると、小中学生に肩こりによる不定愁訴の患者が年々増加していると発表された。氏はストレスだと言われていたが児童の間にある登校拒否や校内暴力などの要因がもしかしたら肩こりがそうさせるのかも？

◎東京の伊藤氏は、「一穴治療について」と題され印堂に針刺し鼻づまりに、大椎に斜刺し上に向けて一寸アレルギー性鼻炎に、頬車は下歯痛、人中は背痛、胸痛みに各々特効がある。

◎東京衛生学園専門学校の森田、橋、鈴木の三氏による共同研究「腎兪穴刺鍼による腎機能に及ぼす影響」を発表。私も大変興味深く聞かせていただいた。一般に背部兪穴とその同名の臓腑は関連性が深いと言われている。今回我々は、腎兪穴の腎機能に及ぼす影響を検索した。また、経穴部と非経穴部による影響も合わせて比較検討した。

健康な成人男子二名に対してセイリン社製二番の鍼を用い、一.五 cm 刺入十五分間の置鍼を行い、抜鍼後十五分及び六十分、尿中および血中成分の検索を行った。また、非経穴部に関しては腎兪穴の斜め



横浜市民ホール



開会式で挨拶する関野日東医学会長

- 22 -

下方一から一.五 cm で皮膚鍼でも電気抵抗の変化の見られない部位を選定した。また、その他の実験条件をして、一時間あたりの尿量に相当するブドウ糖電解質溶液を一時間ごとに五回輸液し、三時間後に鍼刺激を行った。その結果腎兪穴刺鍼群では、尿量および尿中 Na（ナトリウム）及び Cl（クロール）の著名な排泄増加が見られたが、非経穴部位刺鍼群では尿中カテコールアミンを除いては殆ど変化が見られなかった。

◎特別講演は次の三先生が感銘深い講演をされた。

◎東邦大学医学部名誉教授、幡井（はたい）勉先生「鍼灸は何故効くか」

◎医学博士、高島平整整形外科院長、リハビリテーション専門医、荻島秀男先生「腰痛のみかた、治し方」尚、腰痛体操のビデオも観せていただく。

◎北里研究所、東洋医学総合研究所、間中喜男先生「経絡についての考え方と利用法」。間中先生の講演はユーモアに溢れ面白く聞かせていただいた。

## 五十八年度の中央業会の動き 社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 カイロと真っ向対決 全国師会長会議

石川理事長も出席

昨今、やや沈滞気味の三療界のムードを打破するとともに、全鍼師会の活性化に向けてのカンフル剤ともいべき趣きのあった全国師会長会議で、関野会長以下執行部は、カイロに対する並々ならぬ不退転の決意を表明するとともに、檄を全国に向けて力強く発し、全鍼師会躍進の誓いを新たにしました。

一月十六日、午後一時より五時にわたって、四谷の全鍼師会会館二階会議室に於いて開かれた「全国師会長会議」は、二十九府県師会の会長が参加して、白熱の論議を展開した。

愛知県の坂栄一氏を議長にして執行部よりの事業・中間期決算などの報告のあと、次の事柄が決議確認された。

### 一、業権の擁護拡大に関する件

#### 緊急課題

(I) 中京カイロプラクティック学院（名古屋市中村区名駅三丁目十二番十五号竹生ビル二階、理事長 村井正典、学長 高木健太郎）の専修学校開設に反対する件。

四月開校を目指して、目下学生募集をしている同学院の違法性を指摘すると共に、カイロプラクティックの合法化を阻止するため、中央段階、地方段階に於いて次の行動を起こすことを決定した。

#### 中央レベルでの運動

(1) 厚生省に対して、あん摩等法第十二条の違反として、その取り締まり方を申し入れる。

- 23 -

(2) 文部省に対して、同省より愛知県知事に対して専修学校の認可を下さないよう指導してもらうよう申し入れる。

(3) 法務省に対して、法律違反、特に最高裁判例の拡大解釈を警告し、これに対する法務省の見解を公表してもらうよう申し入れる。

(4) 国会の社労委に対して、厚生省に対し積極的な行政指導を行うよう申し入れる。

以上の陳情運動の外に、必要に応じた有効的手段を講じて行く。

## 地方レベルでの運動

地元愛知県師会が中心となって関係諸団体と協調して、

- (1) 県知事に対して、徹底した行政指導の断行を求める。
- (2) 県議会議長、議員に対して、取り締りの請願活動をする。
- (3) 県警に対して、詐欺行為として告発をする。
- (4) 高木健太郎参議院議員と学院関係者に対して、抗議と自粛要望をする。

この運動に対して全国都道府県師会も積極的な支援活動として、愛知県知事、県会議長に対して、カイロの違法性を訴え、その取締り強化の陳情を行うと共に、高木健太郎議員に対しても抗議の文書を送付することなどを決議した。

### (II) 電話帳職業欄の編集問題について

電々公社の昭和五十九年の電話帳職業欄の編集方針で、あん摩マッサージと鍼灸、あん摩マッサージと指圧をそれぞれ別欄として編集する外、カイロ療術等、法律に認められていない医業類似行為の名称を使い新たな欄を設けることとした。

これは三療業の実態を知らない認識不足のなにもないので編集方針の変更を申し入れることとする。

鍼灸、あん摩、指圧等の療法に対する誤った考えを社会に植えつける危険がある上に、カイロ療術などの非合法な手技療法を合法化に向ける手段ともなるので、これらを防止する意味から、次の運動を展開することとした。



開館当時の全鍼師会会館

- 24 -

中央執行部としては、早急に電電公社総裁に対して、その誤りを指摘するとともに編集の方針を変更するよう文書で申し入れる。

都道府県師会では中央と同じ方法で各都道府県の電気通信局長に対して申し入れをすることを決定。

### 恒常的課題

#### (I) カイロと療術の立法化阻止と取り締りについて

- (1) カイロを標榜する無資格療術の取り締りを厚生省と国会に要望するため、中央・地方が一体となって陳情・請願運動をする。
- (2) 医業類似行為研究班の研究結果を公開するよう厚生省に申し出る。

#### (II) 柔整の逸脱及び不正行為について

柔整は外傷を原因とする骨折、脱臼、捻挫、打撲等が本来の適応範囲であるにもかかわらず、この範囲を逸脱した上に、これらの傷病に対して、あん摩マッサージや鍼の施術を公然と行い柔整の施術としての保険請求を行っている実態について、厚生省の医事課と保健局の見解を質し、鍼灸マッサージの保険取扱いについても柔整同様認めさせる目的で次の運動を起こすことを決定した。

- (1) 各都道府県師会で模擬患者を仕立て、柔整の業務の実態を調査、把握し、各師会最低一件の資料を中央に送付すること。
- (2) 中央執行部は各都道府県から送られた資料を踏まえ、厚生省の医事課に対し、柔整の業務

範囲を質す一方、保険局に対しては、保険取扱いの公平を強く訴える。

(Ⅲ)「鍼灸の保険協定を進める会」に対する協力支援について

東京都清瀬市の堀文三郎氏を会長として運動を続けている同団体に対して、物心両面の協力支援を行うことを決め、その手段方法については執行部に一任された。

二、財政確立に関する件

五十九年度会費について

年会費現行二、五〇〇円を一、〇〇〇円値上げして三、五〇〇円とする。その代り、政治連盟の会費千円は徴収しない。

政治連盟の財政は値上げした千円の内、七割内至八割を政治連盟負担金として一投会計より繰り入れる。この案件を次の代議員総会に提出して可決承認を求める。

この件に関しては出席二十九師会中一師会が反対、二十八師会が賛成。

五十八年度政治連盟の会費について

五十八年度総会で発足した政治連盟の会費千円は非常に集まりが悪い（五十八、十二、三十一現在、六師会で二百七万千円）で、執行部で責任をもって対応して解決することで了承。

五十九年度事業についての協議は時間切れのため省略。五時終了。

- 25 -

尚、五十九年度総会は別掲の通り五月十三日（日）十四日（月）の二日間伊豆の大島で開催される。（日本鍼灸マッサージ新聞二月十日号より）

社団法人 日本鍼灸師会

日鍼会 小川氏を会長に

五十八年度 総会開かれる

全鍼師会と時を同じくして、社団法人日本鍼灸師会の理事会、五十八年度通常代議員会、通常総会が東京千代田区平河町の全共連ビルで八十七名の代議員、百名の会員を集めて開催された。

木下晴都会長の退陣にともない後任会長に誰が選ばれるか注目されたが、選考委員会の推せんを得た小川晴通氏（日鍼会副会長・東京都鍼灸師会会長）がすんなりと日鍼会会長に選ばれた。副会長には黒須幸男（東京）谷口健蔵（大阪）の二氏が選任され、監事は明石輝信（京都）三木健次（大阪）両氏の近畿ブロックが独占。

この日配られた討議資料によると、会員数は六〇一八名となっており全鍼師会の半数以下であるが予算規模は一億一千万円弱であり、全鍼師会の予算額の三倍近い数字を示している。

小川新会長を補佐するスタッフは、総務、山下健（関東）。財務、北田博明（関東）。学術、福村昭（関東）。法制、森秀太郎（近畿）。広報、中村万喜男（関東）。国際、笠井行雄（北海道）。保険、井垣博夫（中部）。組織、重成祝郎（近畿）。調査、内野牧夫（関東）。普及、中村錦右（北陸）。共済、今井義晴（関東）。企画、浦山久昌（関東）の各氏。

小川新会長が木下前会長の路線を如何に軌道修正し、三団体間をどのように遊泳して行くか、その力量が注目される。（日本鍼灸マッサージ新聞より）

日 保 連

あるべきか・あるべきでないか、それが疑問だ  
執行部への不満爆発



昭和五十八年度日本保険鍼灸マッサージ師連盟（会長木下晴都）：日保連：の通常総会が、昨年同様千代田区永田町の薬業健保会館に於いて、午後一時より開催された。

例年、野次と怒号が乱れ飛ぶ総会ではあるが、最終的には全鍼師会系対日鍼会系、日盲連系の一对二の多数的で強引にねじ伏せて定刻終了に持ち込むのが常套手段であったが、今回の総会はいささか様子が違っていた。執行部の描いた脚本通り演出通りに代議員が踊らされなかった。

- 26 -

開会の挨拶に立った村谷副会長（日盲連会長）の「慎重な審議と円滑な運営を」の願いも空しく、総会は冒頭から議事録署名人の選任から大荒れとなった。元来、会務運営に杜撰な執行部が総会に出席もしていない者を議事録署名人に仕立上げてお茶を濁していたことが発覚しての騒動である。執行部の答弁はまことにお粗末であり代議員の憤りの炎に油を注いだような結果となり最後の幕引きまで大荒れとなった。

日保連連執行部の無責任さ、事務局の杜撰さ、経理の不明朗さに対して、出席の代議員が団体色を超えて不満と不平と憤りをぶつけ、答弁に立った木下会長以下の執行部がしばしば立往生する姿は、まことに不様で滑稽であった。

まず、政治連盟の実体と金銭出納について、きびしい追及が行なわれた。年間会費二千円の四分の一の五百円が政治連盟の資金として利用されてきたらしいが、その巨額な金銭の出納を記録した書類もなく、さらに奇怪なことに政治連盟の規約すら存在しないというに至っては呆然とならざるを得ない。

公益法人でない寄合団体であっても、これは許しがたい背信行為であると罵声を浴びせる代議員、執行部総退陣を迫る声、解散、解体せよと野次る声が会場を埋めていた。

思えば日保連が発足したのは、昭和五十年十二月であった。「三療に関する健保協定の早期実現を期する」という大目的をかかげて以来八年の歳月が流れた。当初、日保連に寄せる全国業友の期待と夢はまことに大きかった。しかし、犬猿の仲ともいふべき三団体の寄合世帯は、悲劇的宿命を背負っており、一致協力して目的に邁進する姿勢はなく、それぞれの団体エゴを丸出しにして罵り合い、傷つけ合い、そして足を引っ張り合ってきた。それでも全国の善良にして素朴な業友達は、総会に出席する代議員に夢を託して、ひそかに忍耐強く朗報を期待しつづけてきた。こうした地元会員の信託を受けて総会に臨んだ代議員達は、毎年、毎年同じような答弁しか聞かされないことに対する不満と焦燥が期せずして爆発したのである。執行部が得々と語る老人保健の二回目の同意書不要やマッサージ項目復活運動の経過などに対しても、冷ややかな反応しか示さなかった。そして、熊本県が出した「日保連の解散、新組織の結成」をめぐる、執行部と代議員の間で白熱した議論が戦わされた。定刻を一時間オーバーしても収拾がつかず、結局、「代議員諸氏の意を体して、今後検討善処する」という木下会長の言葉でようやく終止符が打たれた。「生か死か、それが疑問だ」代議員達はハムレット以上の懊悩をかかえて解散した。（昭和五十八年十月号 日本鍼灸マッサージ新聞より）

- 27 -

## ニュース

### 日マ会、社団法人認可

日本按摩マッサージ指圧師会（日マ会、村谷昌弘会長）では一昨年二月一日組織結成以来、法人化

へ向けて作業を進めてきたが、昨年十一月二十四日付で正式に社団法人の認可を受けた。今回の日マ会の法人化によって、中央に於いては、法人三団体（全鍼師会、日鍼会、日マ会）が揃ったことになる。

日マ会は去る五十五年七月、全鍼師会が法人化した際の、いわゆる合意書の線に沿って五十七年二月に任意団体として結成され、社団法人化を運動中だった。現在の実態は、会員が約三千三百人、全国の組織整備状況は未組織県が新潟、石川、福井の三県のみで、あとの都道府県には全て組織があり、うち、大阪府、愛媛県、山口県など十団体が既に法人格を取得している。年明けには法人認可設立総会が開かれる予定だが、これにより三団体間の会員移動が予測され、村谷会長は「漸く按摩マッサージ対策運動を積極的にできる体制ができた。他団体と協調しながら三療業の発展に尽したい」と喜びを語っていた。（医道の日本五十九年二月号より）

## 健保マッサージ問題対策協

### 要求実現へ行動開始

九月二十四日午後一時より東京四谷の全鍼師会会館に於いて、「健保マッサージ問題対策協議会」（吉村啓治会長）一構成団体：全鍼師会・日保連・全病理・理教連・日盲連・日マ会一が会合をもち、当面の運動方針について協議を重ねて、次の事柄を決定した。

- (1) 十月十五日までに要求実現への行動を開始する。
- (2) 要求する事項
  - (a) 社会保健診療報酬点数表におけるマッサージの項目の復活
  - (b) マッサージ料金のアップ。
  - (c) マッサージ師の身分確立の三点をかかげて厚生省に迫る。

なお、同対策協の代表と日本医師会首脳部との懇談会の開催を申し込む外、中央社会保険医療協議会に対しても同様の申し込みをする。

- (3) 要求貫徹の総決起大会を十月十日から十五日の間に議員会館で開催する。
- (4) 傘下の各団体が個別に衆参議員に陳情すると共に関係各方面に積極的に働きかけていく。

昭和五十六年六月一日の社会保険診療報酬点数表からマッサージの項目が削除されて早くも二年余の歳月が流れた。項目削除の波紋は大きくかつ深刻であった。病院マッサージ師の身分は、風前の灯火（ともしび）となり身分の崩壊、就職前線の不安定、収入の減少、心理的打撃など、その被害は計り知れぬ程であった。

この問題に対していち早くその対策の必要性を感じ、全病理、全鍼師会、理教連は関係他団体に呼びかけ、今日まで項目復活、点数アップなどの陳情請願運動を繰り広げてきたのであるがその運

- 28 -

動経過は各団体間のお家の事情などから、必ずしも強固な統一的行動を行った訳でもなかったのではないか。組織は大きい程団結は強固な程、そのパワーも強大化される。今後の同対策協の活躍に期待をよせるマッサージ師の数は少なくない。業権拡大、要求実現への道は険しくとも初志を貫徹すべきである。十月十二日以後の政局の動きを利用しての政治決着への道も考慮すべきではないか。

### 四者懇談会開催積極的な活動目標決定

久しぶりに四者懇談会（構成団体：全鍼師会・理教連・全病理・日盲連）が、九月十四日午後三時

より四谷の全鍼師会会館で開かれた。各団体より会長並びに委員約二十余名出席。

各団体の代表より三療界の現況報告と情報交換が行われた外、病院勤務者の現状と今後の展望並びに法二一七号の改定の関係、四者懇存続の意義などについて報告及び討論が行われた。その結果、次の事柄を決定確認し今後の活動目標とした。

- (1) 身分法二一七号の改正へ向けて構成四団体の意志統一を五十八年十一月一日までに図る。
- (2) 療術・カイロ療法に対して、療術研究班の研究結果の回答を求める。療術手技は、三療の業務の範疇であるとする三療業界の考えと、そうではない新しい手技、異なる手技だとする療術側の主張と対決して行く姿勢を強く貫ぬく。又、カイロも規則する法律がないので現在、野放しの状況となっているが、この点についても厚生省に強く抗議することを申し合わせた。危険がなければ、実害が無ければという過去の最高裁判例のため、とかくこの問題に対して消極的であったことを反省し、今後、厚生省に対して、カイロの違法性（法第十二条の低触）危険性を軸として斗争を展開していき、ことと次第によっては行政訴訟も辞さぬという強い姿勢を打ち出した。

（日本鍼灸マッサージ新聞 十月十日号より）

### 予想外に柔整師進出

（点字毎日 十月三十日号より）

鍼灸に比べ保険取扱いが容易な柔道整復が晴眼者養成施設で人気を集め、鍼灸の資格に加え柔整の資格を取り開業する人速が急増してきた。開業している人のなかには、柔整の看板を挙げ、鍼灸は自由診療で低額サービス、といい形態で患者を引き付けている所も多いといわれ、鍼灸業界にとって大きな脅威になりそうだ。

大阪には柔整科（二年課程）をもつ晴眼者養成施設が三校あるが、そのうち関西鍼灸柔整専門学校では、柔整科六〇人の定員のうち今春四〇人が鍼灸科から進学した。残り二〇人に対し一五〇人が応募、合格者の中には開業している人が二人も混じっていた。

- 29 -

逆に柔整科を卒業して鍼灸科に進んだ人も十人いた。また、明治鍼灸柔整専門学校でも昼・夜間合わせて一二〇人の定員のうち、今春は三割強が鍼灸科からの進出者と卒業生で占められ、競争率も六倍、鍼灸科定員一二〇人に柔整科から進んだものも十人いたという。両校では、定員もあって積極的に進路指導しているわけではないが、両方取っておくのが有利、と廻りのアドバイスを受け、最初から五年計画で入学する生徒が年々増えてきているという。

こうした傾向は、全国十四校の柔整師養成施設で同様に現われており、ここ数年、増加の一途を辿っている。柔整は骨折・脱臼・打撲・捻挫に限り保険が効くことになっている。医師の同意が必要なのは骨折・脱臼だけで、この二つも応急手当については口頭でも認められ、医師の同意書は必要ない。保険取扱いも各県師会で窓口も一本化されている。保険取扱いが容易な点が大きな魅力で殆ど柔整師が保険診療を行っており、平均月収は一〇〇万円にも及ぶといわれている。

一方、鍼灸は団体協定が締結されていないことに加え、医師の同意書が必要なこと、更にその同意書も医師が出し渋る傾向にある。このため、不況も手伝って、鍼灸科を卒業しても、親の地盤のほか、特殊治療法など営業センスに大きく左右され、開業しても成り立たないケースが続出してきているという。

大阪では現在八七二人の柔整師が開業しているが、その三分の一は鍼灸の免許も併せて持っているといわれる。柔整の保険適用と鍼灸の治療効果という二つのメリットをミックス、整形外科で回復困



難と診断された人達が柔整に流れており、柔整では保険で示された疾病での治療に加え、病状に合わせて鍼灸で治療、保険請求は柔整のみで行い、鍼灸治療はサービスで料金を取らないのが普通で、取っても五百円から千円の低料金という形をとっている。しかもこの方法は、法的にも両方の資格があるだけに問題もないため、鍼灸業界も客離れに歯止めをかける手立てがないのが現状だ。

この問題に対して、全鍼師会の関野光雄会長は「鍼灸業界にとって脅威であり重要視している問題だ。そもそも柔整の適応症がないものを請求、申請しているのがおかしい。サービスと言い逃れてどうにも判らない点もあるが、柔整が筋肉痛や神経痛の対象か、という問題になる。厚生省は鍼灸の協定にとにかくいうが、この状態は余りにも杜撰だ。厚生省の行政責任はどうなるのか。業界では柔整の反発を恐れ、団体協定への悪影響を心配する向きもあるが、公になれば大問題。鍼灸の団体協定にも絡む問題だ。業界では対抗策がまとまった段階ではまだないが、鍼灸協定が締結されたのちの課題だと思う」と話している。

- 30 -

## 随筆

### 二つの喜び

気仙師会 菊池利美

こんにちは「ヨイショ、とっても苦しくてわがねー」と云って入って来る「Yさん」。我が治療院の常連の患者の一人です。診ると全身的に冷たく、圧痛や凝りがヒドイ。

「この間の鍼、とってもよがった今日も鍼をしてけらしせー」、「どこが一番苦しいべー」、などと会話をしながら治療を終える。終る頃から体は生氣を取り戻し、暖かくさえ感じられる。「もう少し寝らせてけらしやー」、「どうぞ」と言い終らぬうちに、「Yさん」は再び横になった。

私が陸前高田に開業したのは昭和五十二年の四月二十六日でした。以来、七年の月日か流れました。

当地に来る以前は、北海道の温泉場で、今日会って明日のない患者に接しながら、なぜか心は晴れなかった。それは私自身の技術が、どの程度であるのか全く分らなかったのです。

しかし、地元の人達に接して見ると反応が段々と分かり、それがまた励みともなって来ました。ある日、春まだ浅い時期だったと思うが一人の患者が付添いに支えられる様にながら来院しました。

話を聞いてみると、どうも「ぎっくり」腰の症状であると診断しました。これは鍼が良いと判断を降しました。そして丁寧に触診を試みた。すると仙骨部に非常に強い圧痛があり、しかも熱をもっている。私はおもむろに鍼を取り出した。先ず圧痛の周囲から切皮程度の刺鍼を進め、次第に中心部へ、静かに、やや深く刺鍼し治療を終えました。私にとっては一つの「カケ」であった。祈る様な気持で患者を帰しました。

次の日、患者は一人で軽い足どりで来院しました。菊池さんととても楽になりました。どうも有難うと言われ「ホット」胸をなでました。と同時になぜか熱いものがこみあげて来ました。治療師として

これ以上の喜びはないと確信を持つ様になりました。

仕事を終えた私には、次の喜びが待っている。

「シーキューシーキュー、こちらは、ディーエッチセブンブイエヌピー、どなたかお聞の局ございま

せんか受信します」

「どうぞ」、「了解」ヂイーエッチセブンブイエヌピーこちらは……です」

「どうぞ」という具合です。

そう、アマチュア無線です。

この事に付いては、くわしくは書けませんが、電波を通じて得た友達は、私にとって晴眼者とのつきあいの窓口です。彼らと話をしていると話題にはことかかず、おまけに直接会うと更に喜びが広がっ

- 31 -

て来ます。朝出掛ける前、自動車に乗っている人と話をし付近の天候、道路状況を聞いたりして仕事場へ来る事が多い、我々の同業者でも、可成りの人が「ハム」を楽しんでいます。火曜日の朝八時から全国の盲人の「ハム」達が一同に会し通信を楽しんで居ります。

これに時々参加し、又相手局の天候その他を聞けます。話の中心はやはり無線のことが主ではあるがそのうちでも、けっこう勉強になります。この趣味を生かしつつ頑張っていきたいと思う。

以上、未熟者の私が貴重な誌面を汚させて頂きありがとうございました。

最後に、皆様におかれましては、業のますますの御繁栄と御健康を祈りつつ点筆をおきます。

## 師会だより

### 花巻師会

花巻師会広報部

一九八三年も数々のニュース、天災、人災が発生し、心胆を寒からしめた一年でした。

大韓機の墜落、各地の爆破テロ事件。国内では日本海中部地震津波、久慈の大火、妻籠のプロパン事故等々、数え切れない程の事件が起りました。又、師走の心忙しい時の天下分け目の総選挙とあわただしい一年でした。各師会の皆様方には今年一年間、健康で業務に励まれたことと思っております。

お蔭様で当師会も変りなく新春を迎えようとしています。この一年間の花巻師会の行事を、一言述べてみたいと思います。

四月十七日、台温泉吉野屋にて総会を開きました。

七月七日、七夕の日、年間を通じて老人ホームに併設されている在宅老人リハビリティーサービスセンターに、週二回交替で治療奉仕をして居りますが、これとは別に例年の如く業会全員揃って奉仕活動を行ない、五十数名治療し、所長始め、皆さんに大変喜ばれました。

八月二十四日、当師会総ぐるみのレクリエーションを盛岡市のラドン温泉にて、和気あいあいのうちに開催しました。

皆様御存知とは思いますが、大気中のラジウムから出るラドンをガスにして吸入し、悪性の腫瘍以外には、それぞれの病気、又美容にも効果があるそうです。

思い思いに湯につかり、寝そべり、マッサージをして凝りをほぐして、午後はカラオケと取り組み、大平楽な終日を過しました。

十二月四日、不景気を忘れようと、業会、家族共々全員の大忘年会を花巻温泉青葉館にて盛大に行

- 32 -

ないました。呑んで、食べて、唄って、大会賞も花を添え、賑やかに、夜の更けるのも忘れて素晴らしい年忘れ会でした。こような催しも、人間には、明日への活力を養ない、きびしい人生を生きぬく為には、必要なことと感じて居ります。

当師会の一年を振り返り、新しい年への希望を胸に、皆元気で頑張っ居ります。

来年は子年、こまめに動き廻って働き、食べ物には困ることのない目出度い年を、皆様と共に明るく迎えようではありませんか！

各師会の皆様、御健勝で幸多き新春に向って、益々の御発展、御活躍の程、心からお祈り申し上げます。

## 北上・和賀師会

南川 忠

十月二十九日、初雪が降り何度か降って消え消えしましたが三、四十 cm 積もっています。

今年四月に役員改選で次の通り総会で決りました。

会長 南川 忠氏、副会長 白藤とく子氏、会計 高橋 久氏、監査 高橋辰夫氏、以上です。

老人ホーム慰問マッサージ

今年は、三施設を慰問致しました。

- ・北上 九月二日（金） 恵愛園、北上 九月二日（金） 高寿園
- ・湯本 九月には二班に分れて行いました。
- ・初の単独講習会

今年初めて師会単独で講習会を十月半ばに、開催しました。お互いに技術の交換をして、お互いに議論をして時間の過ぎたのも忘れて真剣に取り組んでいました。又、あん摩マッサージだけでなく今度は鍼灸もとの声もありました。初めての講習会にしては大成功と思っ居ります。

また、終了後イモノ子会が開催され、勉強のあとの快よい疲労も手伝ってか、此の日のイモノ子は格別な味で一同舌鼓みを打ち、一層の親睦を深めたようでした。

- ・脱会のお知らせ

藤田誠一氏、二十数年来会員として協力頂いたのに残念です。

藤田氏が三月三十一日を以って一身上の理由で脱会致しました。

- ・復会のお知らせ

高橋辰夫氏、二日程ケガで休会しておりましたが、四月から復会致しましたのでどうぞ宜しく。

- ・若手・新会員の紹介

高橋孝氏、昭和五十六年埼玉県所沢身体障害者センター卒業、四月本会に入会し、五月に順天堂治療院として北上市花園町二丁目四の二五に開業致しましたので宜しく御支援下さるようお願い申し上げます。

寒さも厳しくなり、会員の皆様、風邪などひかず新年を迎えられるよう、来年もよろしくお願ひ致します。

- 33 -

## 一関師会

一関師会長 北峯忠志

県内師会の皆さんには御健勝の事とお慶び申し上げます。又、県北師会の松田様には黄綬褒章を受章され、又、胆江師会には師会創立七十周年の良き年を迎えられるなど業会にとっても誠に喜ばしい

次第で心からお祝いを申し上げます。

次に、一関師会の事業内容の御報告を致します。

1 定期総会は、四月三日、市内「蘭梅荘」に於いて開かれ、昭和五十九年度の県師会総会開催受入れの協力や研修旅行、慰問治療などを決議したあと役員を改選しました。

新役員は名誉顧問 岩井清三、顧問 北峯胤雄、会長 北峯忠志、副会長 阿部吉久・小野寺由雄、庶務 千葉謙一、会計 鈴木富夫、監査 小野寺安治・千田修三。

2 研修旅行は、六月二十一日、花巻の志戸平温泉に一泊で行い、翌日はバラ園を見物して帰りました。

3 慰問治療第一回目は、七月十日、東山町老人ホーム東山荘に、第二回は市内の老人ホーム福光園にそれぞれ慰問治療を行い、健康に一役買いました。

4 治療研究会は、七月十日、慰問の後「蘭梅荘」に於いて行い、互いに研究を深めあいました。

次に、来年はいよいよ一関の巖美溪で県師会総会が開かれますが、その日もいよいよ迫ってまいりましたが、その日程が、日盲連青森大会の日と余りにも近いので、県総会を昭和五十九年四月二十一日、二十二日（土、日曜日）に致しましたので「とまどい」もある事とは思いますが、その頃はおりしも巖美溪は桜の見頃であり返って幸運ではないかと思えます。

巖美溪は、一関駅からバスで二十分位の所ですが、勿論「送迎バス」を用意致しますので多数御来会下さる様お待ち申し上げます。では巖美溪でお会いします。

## 気仙師会

会長 鈴木源十郎

県師会の皆さん如何お過しでしょうか。それぞれご活躍の事と思えます。当師会は、結成以来日も浅いので、今後共、尚よろしく御指導を頂きたく御願い申し上げます。

当師会も、法人の義務とも言うべき社会奉仕活動の実施、また職業技術向上にも努力して居ります。今年も、如何やら苦難の年になりそうですが、私はどんな苦難をも乗り越える自信があります。

今から十二年前、重篤な胃潰瘍に罹り医師より死の宣告を受けオペを受けました。正しく、死に直面した私は、死の恐怖感よりも何とか生きなきゃと病魔と戦いました。医師も驚ろく位グングン回

- 34 -

復し退院することが出来ました。医師は奇跡だと言いました。死に直面した時、私の心に生きなけりゃという強い意志が働き闘病に立ち迎えたのでしょうか。此の貴重な体験により私の精神力を強固なものに作り替えてくれたのです。ちょっと私事ばかり書き横丁にそれ申し訳ありませんが、どうか皆様方も、今年は強い精神力で頑張り不況を吹き飛ばしてください。それではペンを置きます。

## 久慈師会について

編集部

会員の大崎慶作氏が体調を崩され、静養のため本会を去られましたが、これは体調が回復するまでで、お元気になられたら復会するそうです。

また、夏井文雄氏、小倉栄一氏のお二方も退会され、執行部は久慈師会の崩壊かと心配しましたが、板橋トク、岩本芳弘の両氏が、あとを引き継がれ趣営してゆくことになり、ホッといたしました。

代表は取敢えず板橋トク氏で、今後二、三名の新会員も獲得出来るとかで、強い意欲を見せて居られるようです。久慈師会の今後の御発展をお祈りいたします。

## 宮古師会

今年も雪の声に身をふるわせる季節となり、どうやら会の仕事も無事に終えたと云う半面、宮古保健所管内に十軒近く看板を出している整骨院に押され通しの一年でもあったようで、来年こそは、どうにかして取返えたいものと思案する今日この頃です。

さて、師会の一年を振り返って見ますと、悲しい事嬉しい事の入りまじった何とも複雑な思いにさせられる一年であったようです。その一つに、佐々木栄さん、佐々木桃子さん、それに一時籍を置いておられました鈴木五郎さんがお亡くなりになられたことです。会員一同相次ぐ訃報に打ちひしがれ、心の動揺を穏せぬようでした。御三人の御冥福をお祈りしたいと思います。

又、喜びは塩越富雄さん（鋏ヶ崎）、大上恭三さん（磯鷄）のお二人が入会されましたことと、老人ホームへの慰問に付き社協より感謝状を受け、又、会活動で一番力を入れている三療の研究があります。今年のテーマは顔面神経マヒに対する三療で体験発表を、その外、心臓マッサージの実技も行いました。 中村

- 35 -

## 釜石師会

会長 越本政男

史上空前の六連覇の大偉業を達成した新日鉄釜石ラガーが、一月十八日堂々の凱施。市民は熱狂して歓迎した。不況も暫し忘れて喜びに浸ったのも束の間、新日鉄は釜鉄労組に対し六〇年夏頃までに二基ある高炉のうち一基を休止する、人員については所外転出はせぬが年満退職者の補充はせず、但し下請の従業員は可成りの余剰が出ることが予想されるという厳しい合理化案が提示された。

我が国最古の製鉄の灯が消え失せるのも遠くはないのではないか…。繁華街には活気がなく、サラ金の店舗のみが矢鱈と目に付き、一月中には四件の倒産が相次ぎ、人口の減少に歯止めを掛けるすべもなく、県下第四位の都市に転落するのも間近い。企業城下町釜石は今や頻死の重症である。

しかし、明るいニュースもある。この四月に沿岸住民が半世紀に亘っての願望であった三陸縦貫鉄道が開通する。観光に活路を開こうと大型ホテル二棟の建築が進められている。市当局も市議会も商工会も産業界も釜石再生の道を模索している。

八十四年も亦厳しい試練の年を吾釜石師会会員は迎えた。

八十四年も亦厳しい試練の年を吾釜石師会会員は迎えた。

◎ 当師会では、四月二十三日午後三時より、県下でも海水浴場として有名な根浜海岸にある旅館・宝来（ほうらい）館に於いて五十八年度の定期総会を開催し、役員改選などを行った後、懇親会を開催し一泊した。役員は次の通り。

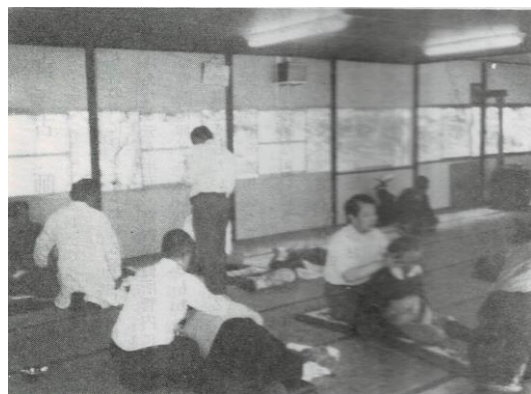
会 長 越本 政男

副会長 岩間 悟郎

監 査 飯田 直志 上田 博也

◎ 九月二十五日午後、市内にある老人ホーム五葉（ごよう）寮の慰問奉仕治療を行う。

なお、三月中旬頃に特別養護老人ホーム清風（せいふう）園を慰問奉仕する予定。



慰問治療奉仕

◎ 会員の消息

佐々木キミ子さん（佐々木至氏夫人）昨年三月に退院し、お元気で家事に専念しながら静養され

- 36 -

ていますが現在も休会しています。

上田博也氏の御母堂が、昨年六月十一日に急逝されました。ご冥福を心からお祈りいたします。

飯田直志ご夫妻に、初孫が誕生しました。男のお子さんです。お芽出とうございます。

寄松忠氏、ボランティア活動にお忙しい日々を送って居られます。

三枚堂トシさん、盛岡と大槌（おおつち）を駆け持ちの営業、がんばって居られます。

◎ 十月には日東医学会横浜大会に、三枚堂さん、佐々木至さんと私が山席しましたが、三人旅を楽しみました。なお、佐々木至氏は私と共に東鍼連秋田大会にも山席しました。

佐々木信良氏、地域の盲協支部長として活動されています。

以上、釜石師会だよりをお届けしました。悪条件の中で吾釜石師会員一同、耐えながら頑張ることでしょう。かえって遅くなるかも…。皆様方も頑張ってください。

- 37 -

編集後記

今冬は例年のない記録的な酷寒に道路が凍結して患者の足が奪われて、私宅では減収になりましたが会員の皆様方は、どうでしたでしょうか。会報第十六号をお届けいたします。

吾業界の周囲には恒に暗雲が「おおい」かぶさり、次から次へと嵐がやって来る。今度はカイロの問題がヤマ場に来ています。また、接骨師の問題など難問題が目白押しです。会員の皆様に現状を少しでも把握して頂けたらということで、日本鍼灸マッサージ新聞からの記事を使用しました。まあ中央の業会は大荒れですが、吾県鍼灸師会に於いては、胆江師会の創立七〇周年の燦然と輝く記念式典の挙行、松田惣次郎氏の黄綬褒章の受章、石川理事長の知事表彰など目出度いことが重なり、五十八年度は佳き一年だったと思います。

五十九年度も、会員の皆様の御支援により益々団結して、中央の先生方の粘り強い運動に協力し更に県鍼灸師会を発展させる様、よろしく願い申し上げます。昨年も、佐々木栄・佐々木桃子の両氏が他界されました。お二人共短い生涯でした。心より両氏の御冥福をお祈りいたします。

昭和五十九年二月二十五日

編集責任者 越本政男

社団法人 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

昭和五十八年度 会報第十六号 昭和五十九年三月十五日発行

発行人 理事長 石川文治

〒〇二三 水沢市中町一六七

電話（〇一九七二）三―五七二二

編集責任者 副理事長（事業部長）越本政男

〒〇二六 釜石市中妻町二丁目一番二十六号

電話（〇一九三）二三―六四三九

事務所 〒020-0001 盛岡市箱清水一丁目三十六番五号  
下佐征昭（総務部長）方  
電話（0196）61-6277  
印刷 青木印刷  
〒026 釜石市中妻町二丁目四番二十五号  
電話（0193）23-6687

- 38 -

ヤマキン広告

## 鍼・灸・用具専門店

－取扱品目－

○針及び針灸用具 ○消毒装置 ○電気治療器

○温熱装置 ○治療室開業諸設備 ○物療器具

●せんねん灸（治療院割引価格が有ります。）

伊 吹－お灸のイメージを一新手軽さで好評 80点入 1,000円、170点入 2,000円

近 江－画期的なにんに灸 70点入 1,000円、150点入 2,000円

八 景－匂いもさわやかなしょうが灸 70点入 1,000円、150点入 2,000円

竹生島－最も新しいソフトタイプ灸 70点入 1,000円、150点入 2,000円

### ◆新製品紹介

●円皮針 B（スズメッキ）＝（円皮針＋スズメッキ＋絆創膏）

（特長）スズメッキ品は特にイオン効果の大きい円皮針です。

1シート（20本付）業務用価格（10シート以上）1シート ￥650

●サーモフオア（米国製品）

（特長）サーモフオアは空気中の水分を凝固させて水滴を作り水を使用せずに湿性ホットパックとしてご使用頂ける全く新しい温熱治療器です。

100Vのコンセントに差し込んでいただくだけです。往診に回診に最適商品です。

（寸法 巾 600mm×奥行 300mm）

1台定価 ￥39,800円（綿カバー2枚付）

## 有限会社 ヤマキン

〒034 青森県十和田市大字相坂字相坂 90

電話 01962-3-9138

郵便振替（盛岡）3-597番